

環境先進都市に向けた政策の推進について（改訂継続）

地球環境への関心が日を追うごとに高まっている中、低炭素社会の実現に向けて温室効果ガス的大幅削減などへの取り組みとして、行政と企業が果たすべき役割と責任は、今日の社会問題として非常に大きなものがあります。

桐生市におきましても群馬大学工学部（現理工学部）の「地域力による脱温暖化と未来の街－桐生の構築」構想が平成20年9月に科学技術振興機構（JST）の事業として採択されたことを契機として、産学官が一体となって脱温暖化対策・エネルギーに関する諸環境施策に取り組んできたところでありますが、平成27年3月には、桐生市の地域特性やまちづくり、環境問題への取り組みなどを踏まえた「環境先進都市」を目指しての30年後の将来像を示した「桐生市環境先進都市将来構想」が策定されました。今後は当構想に基づき環境先進都市に向けた環境整備の具現化を目指していただくと共に、特に以下の案件について強力に推進されますことを要望いたします。

1. 環境先進都市を目指しての地産地消の再生可能エネルギー（潜在水力によるB級電力・木材屑等ペレット燃料・里山資源エネルギー等）導入による低炭素型並びに省エネルギー型まちづくりの推進
2. 花と緑があふれたまちなかストリートの整備促進
3. 街並みや景観とマッチしたごみステーションの整備促進
4. 電気自動車充電インフラの整備促進

【桐生市からの回答】

1 地産地消の再生可能エネルギー導入による低炭素型並びに省エネルギー型まちづくりの推進について

環境先進都市を目指したまちづくりにつきましては、平成27年3月に作成した「桐生市環境先進都市将来構想」に基づき、市民・事業者・研究機関で構成する「桐生市環境先進都市将来構想推進協議会」の御意見・御提言をいただきながら取組を推進しております。

本市の保有する豊かな自然を保護しつつも生かすよう、小水力や木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入について更なる検討・協議を重ね、将来像のひとつである低炭素型のまちづくり「環境先進都市」を実現させるためにも、今後とも産学官民の連携を密に取り組んでまいりたいと考えております。

【回答担当】市民生活部環境課環境都市推進係

2 花と緑があふれたまちなかストリートの整備促進について

まちなかや街路の花木・花卉などの植栽による環境整備と修景については、「桐生市

緑の基本計画」において可能な限り大気の浄化や災害時の延焼遮断効果などに配慮した街路樹を整備するなどとして、これまで新川緑道や新川公園を中心とした水と緑のネットワーク形成を進めてまいりました。今後も、「桐生市環境先進都市将来構想」と「桐生市緑の基本計画」に基づいたまちなかの緑化などを推進してまいりたいと考えております。

【回答担当】都市整備部公園緑地課緑化推進係

3 街並みや景観とマッチしたごみステーションの整備について

本市におきましては、市内全域で約3,000か所のごみステーションがありますが、桐生地域では狭隘道路が多く、約半数が道路や歩道上にごみ袋を直接置く方法をとっております。このため、街並みや景観からも本町通りなど市街地においては、なるべく早い時間帯でのごみ収集を行っているところであります。

御要望の街並みや景観とマッチしたごみステーションの整備については、箱型のごみ集積施設が考えられますが、設置場所の確保や交通事情から課題が数多くあるものと考えております。

しかしながら、街並みや景観に配慮したごみステーションの設置については、その地域や地域に暮らす人たちがばかりでなく、本市を訪れる人たちにとっても良好な環境と環境美化が図られることで、大変意義あるものと認識しております。今後につきましては、ごみステーションを利用されている皆様の御意見などをいただきながら、調査、研究してまいりたいと考えております。

【回答担当】市民生活部環清掃センター清掃係

4 電気自動車充電インフラの整備促進について

電気自動車充電インフラ整備促進につきましては、現在群馬県において平成25年5月に策定されました「群馬県次世代自動車充電インフラ整備ビジョン」に基づき、県内での設備整備を推進しているところであります。

本市におきましては、群馬県電気自動車等普及推進連絡協議会に参加し、設備の整備状況の把握及び県への意見などを行っており、平成29年2月には道の駅くろほね・やまびこへの急速充電設備の整備が行われました。

今後につきましては、市内の電気自動車市場の動向に注視しながら効果的な充電インフラの整備について研究してまいりたいと考えております。

【回答担当】市民生活部環境課環境都市推進係